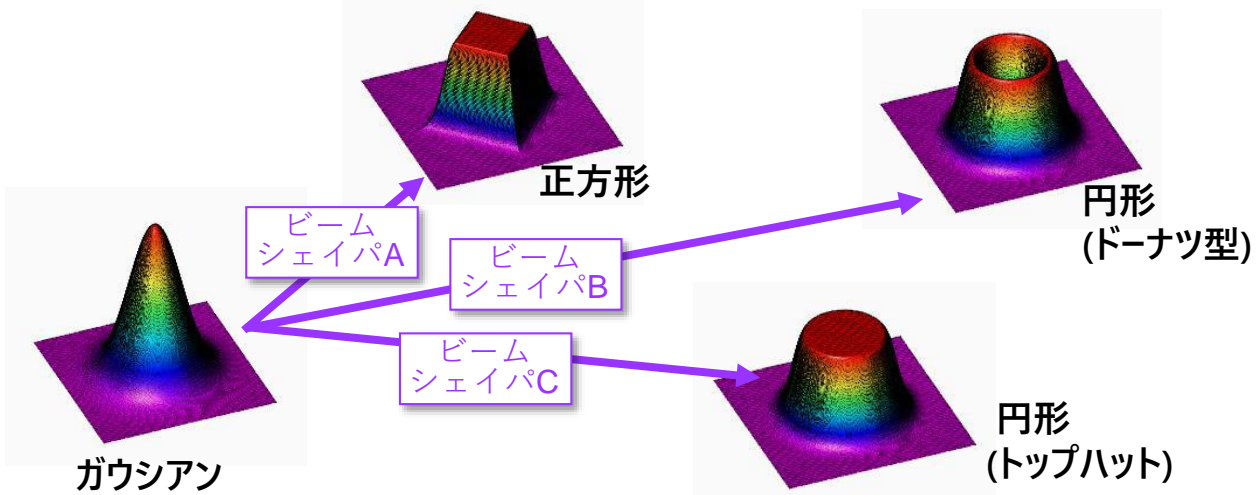




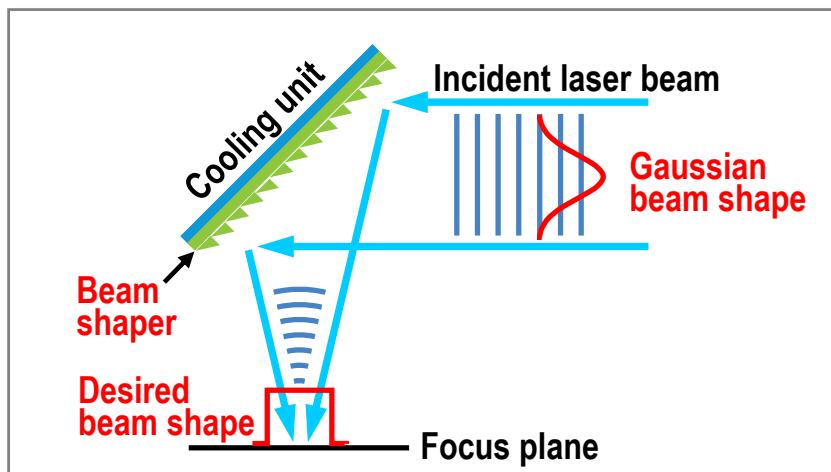
10kW級のハイパワーレーザに対応可能な 光反射タイプのビームシェイパ

変換したビーム形状の例



光反射タイプの回折素子

一般的にビーム形状の変換に使われる透過型の回折格子(DOE)では、光吸収がわずかでも、高出力レーザへの適用では、発熱の影響によりその性能を維持することができず、使用範囲が限定されています。NTT-ATの反射型のビームシェイパは冷却ユニットを使用して素子を直接冷却できるため、10kW超級のハイパワーレーザでも性能を発揮できます。

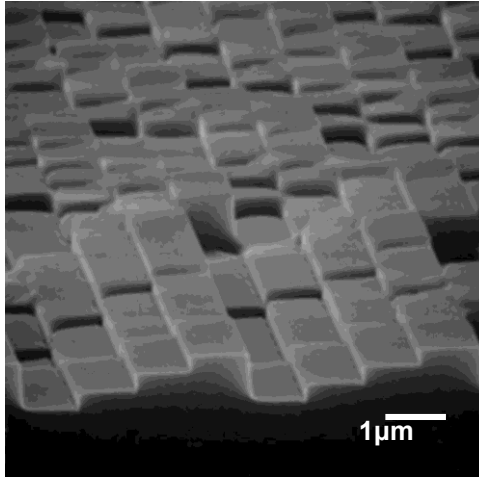


ビームシェイピングの原理

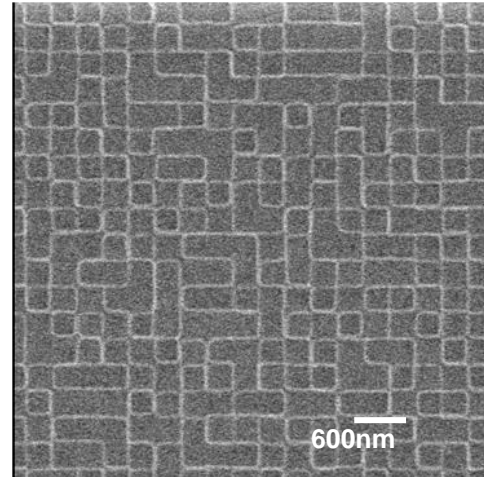


レーザー加工用:

切断 / 穴あけ / 溶断 / アブレーション /
3D プリント / マーキング / アニール / ... その他



1μmピクセル (8ステップ)



300nmピクセル (8ステップ)

ビームシェイパ表面の電子顕微鏡写真

項目	仕様
ビーム形状変換	ガウシアン → 四角 (トップハット)
レーザー波長	1064 nm
レーザーパワー	~10 kW
入射ビーム径	30 mm φ
レーザー入射角	45°
冷却容量 (100mm 角)	300 W
形状	40 mm x 40 mm x 0.5 mm
材質	Si, SiC, 石英、サファイア

- 上記仕様は一例です

お問い合わせ

https://keytech.ntt-at.co.jp/optic2/prd_4110.html

201911B

※記載された会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。 ※本カタログ記載の内容は予告なく変更することがあります。

※カタログ記載内容 2019年11月現在